

あかね先生の

わたしがこどもだったころ...



おにいちゃんとおわたし

父、母、兄2人の5人家族。待望の女の子☆だった私ですが、女の子とは程遠い幼少期を過ごす事となります。私の幼少の頃は、兄の存在なくしては語れません。特に次男とは年が近いので、「ついて来い！」なんて言われると嬉しくて、まるで子分の様に、常に兄の後ろを追いかけていました。雪が多かったあの頃は、屋根からふかふかの雪に飛び降りて遊んだり、虫探しはしょっちゅう！でも見つけた虫に残酷な事も沢山したなあ。それも兄の影響…。狭い湯船で鼻をつまんで何回回転出来るか競ったり…キン肉マンガッコ（分かる方いると良いな）でプロレス技をかけられたり…何とも男子遊び満載でした。

しかし、そんな私でも6歳頃、女の子に目覚める時期が！！可愛い女の子への憧れ！髪の毛長い女の子になりたい！でも私はおかっぱ髪…。そこで考えたのが、タオルを頭にかぶってカチューシャをつけること。それでロングヘア気分を味わったり、リカちゃん人形を買い始めたり…今までを取り戻すかの様に、女子遊びにのめり込んでいくのでした(笑)

今でも兄達と家族の昔話をすると笑いが絶えません。振り返っても「楽しかったなあ」のひと言です！今回は兄との思い出で文章が埋まってしまいましたが、この原稿を書きながら、愛情いっぱい兄達と私を育ててくれた両親にも改めて感謝の気持ちを伝えたいなと思いました♪



おのがわであそんだよ

こどものつぶやき

ことばらアート



あおくみさん作「コンロ」

ももくみさんのおやつ時間。
どこかで聞いたことがあるようなセリフが…！？
M先生「そろそろ、ごちそうさますよ〜！」
Sちゃん「まだみんなたべてるでしょうがー！！」

給食を食べ終えたきいろくみのHちゃん。お口のまわりが少し汚れていました。

T先生「Hちゃんお口の周り汚れてよ！」

Hちゃんは水場の鏡でお顔を確認しに行って…

Hちゃん「…かわいいー♡」

近くの席に座り楽しそうに給食を食べていることが多い、あおくみのRくんとAくん。

H先生「今日も一緒にたべてるね♪」
Rくん「だってAくんはあいぼうだからね！」
Aくん「あいぼうでしんゆうだからね！」



ももくみさん作「あいすくりーむ」

…ぶっくえんど…

春になると緑が生き生きし始めて、お花もカラフルに咲き、青い空！それだけで気持ちが上がってしまいます♪今年は何かおうち栽培したいな〜と思い立ったのですが…。初心者なので、確実性のあるもので「出来た感」を味わいたいな〜と、はつか大根を育てることにしました！子どもたちと土入れ、種まき、水やりをして…4日目で芽がでてきました！！たくさん芽が出て大きな葉っぱになっていくのが、なんとも愛おしい♡土の中で赤く実っているかな〜？抜いてみないとわからないのもわくわく楽しいものですね！
ぶらんこ担当 坂野 春佳

あおくみさんとあそんでいた日のこと。
パパ抜きをしていたGくんとH先生。そばでブロック遊びをしていたSくんが、会話を聞いていたようで…

トランプを配り終えて、手札をみながら
Gくん「せんせ〜パパある？」
H先生「あるかな〜・・・？」
Sくん「あー！せんせいのことばばあっていってだめだよ！！」

ぶらんこ

第123号 2025年5月28日
松ヶ岬保育園
〒992-0059
米沢市西大通1丁目6-56
TEL21-0349/FAX21-0369
E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp
http://www.syogokai.jp/matsugasaki/



こどもファースト

こどものまもちをうけとめる



0歳児 はいはい・よちよちグループ
「はいよちのきもち」



保育園で一番小さいお友だち『はいはいよちよちグループ』。でも、0歳児にも自分の意志や判断で行動しようとする姿“主体性”があります。泣いたり、指差しや喃語で自分の気持ちを伝えたり、ハイハイや歩き、つかまり立ち等、全身を使って動き、興味のある場所を探索したり・・・。今できる一人ひとりの力で精一杯行動する姿を見て、愛おしく癒される毎日です。

4月当初。Aちゃんは新しい環境の中で不安を感じ、保育者から離れなくなりました。保育者の姿が見えなくなると泣き出したり、後追いをしたり、保育者が他の子を抱っこしていると嫌がって、衣服を引っ張って降ろそうとしたり・・・。そんな姿が続きました。『わたしを見て、見てよー』とAちゃんの心の声が聞こえるかのようでした。「先生もAちゃんのことが大好きだよ」「大丈夫だよ。ちゃんと見ているからね」と優しく声をかけたり、「Bちゃんも一緒に遊びたいんだって」等と伝え、一緒に膝の上で絵本を見たり、ふれ合い遊びをしたりして楽しみました。Aちゃんだけではなく、他の子ども達ともスキンシップを多く取るよう心がけながら新年度過ごしていました。そんな毎日の繰り返しの中で、少しずつ保育者から離れる姿も見られるようになり、またお友だちの顔をのぞき込んだり、

顔を見合わせて笑ったりするようになっていきました。

言葉で自分の気持ちが伝えられない0歳児。自分の気持ちを今できる精一杯の方法で主張してくれます。思いを受け止めて言葉にしたり、子どもの思いにこたえて甘えられるようにすることで安心し、次へ進めるよう関わっていきながら、成長を温かく見守っていきたいと思います。



松ヶ岬保育園の看護師からの情報発信コーナー



テーマ
『子どもの便秘』

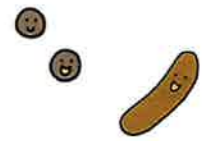


子どもの便秘は珍しいことではなく、離乳食が始まる時期、トイレトレーニングが始まる時期、入園や入学など新しい環境が始まる時期に便秘になりやすいと言われています。

便秘はついつい「たいしたことない」と考えられがちですが、便秘のお子さんはとても痛い思いをしたり苦しんだりしていることが多く、放置するとひどくなる場合があります。該当の時期は、お子さんの様子を気を付けて見守ってあげてくださいね。

【便秘の症状】

- 少量の硬い便が頻繁に出る
- 最後の排便から5日以上出ていない
- 毎日出ていても出すときに痛み、肛門が切れて出血している



このような症状がある場合は治療が必要になります。生活習慣や食生活の改善、浣腸や下剤など、症状に応じてさまざまな治療法がありますので、かかりつけ医に相談してみてください。

～将来のあなたへあてたお手紙です～

大きくなったきみへ

りょうせいの 稜晟くんのお母さん
市川 瀬里香さん



稜晟へ

五歳半の稜晟は身長111.3cm、体重19kg。ショベルカー、ダンプカーなどの働く車が大好きです。二十歳になった今ではすっかり大きくなったのでしょう。

令和元年十月二十二日「即位礼正殿の儀が行われる日」の祝日、分娩室に入ってすぐ稜晟は生まれました。兄の時は短時間で生まれたので二人目も早いかもと思っていましたが、それ以上で驚きました。ミルクを力強くたくさん飲んでどんどん大きくなりました。大きな病気はなく元気に成長してくれとても助かりました。母と兄がおしゃべりだったからか、物事の理解はしていますが口数は少なめでした。二歳半以降どんどん言葉が増えていきおしゃべりになりました。自分が最初に何か気づいたら、みんなを驚かせたくて秘密にするつもりでも黙ってられず、にこにこ顔であつという間に口にします。自分のまわりの事をよく見て気がつく子です。家族が少しだけ髪を切ってもすぐ分かります。

四歳の時、母が病気で長期入院しました。「いってらっしゃい、早く帰ってきてね」と笑顔で送り出してくれました。入院中は携帯で楽しかった話をいっぱい教えてくれました。それでつらい治療も集中でき頑張れました。稜晟、ありがとう。

兄が大好きでいつも一緒、仲良く同じことをしていました。今はそれぞれ違う道を進んでいるのでしょうか。母はやりたい仕事につきました。稜晟にも興味がある事、やりたい事を見つけてほしいです。そして人に優しく自分も大切に、夢をかなえるため努力を惜しまず頑張りましょう。応援します。稜晟の成長していく姿を見るのが楽しみです。

母より



子連れお勧め飲食店。私が紹介させていただくのはラーメン屋さんです。

『子連れでラーメンはキツイから諦めて』とママ友が言っていたのを思い出したのでこの話をいただいた時、ラーメン屋にしようと思いました。

小上がりがあって子連れラーメンしやすいお店は何軒かありますが、私のお勧めは米沢市春日にある『自家製麺めんこう』です。

お勧めポイントは、

- ・お子様ラーメンも種類がある事(しょうゆこいくち、あっさり、みそ、しお、全種お菓子orアイス付)
- ・テーブル用、小上がり用の子供椅子はもちろん、バウンサーやバンボもある！
- ・白ご飯も売ってるので、ラーメン食べない子でも連れて行ける。
- ・お子様ラーメン頼まなくてもアイス、お菓子を別売りしてる。

etc...と、いろいろあるのですが、混むんです。小上がり希望の場合、混んでる時はけっこう待たなくてはなので、オープン前に並んだ方が良いかもしれません。

大人メニューのお勧めはつけ麺のみそです！機会があれば是非行って下さい！



子連れで
食べに
行こう！



紹介してくれるのは...?
びっころ 稜基くん・涼斗くんのお母さん
高橋 直美さん

